

## 中層改良工事使用機械の適正化により作業効率向上

工事名：藪田地盤改良その2工事

概要：従来、深さが3mを超える軟弱地盤の改良はCDM工法等の柱状改良工法が主流であり、施工には大型の改良機械を現場に搬入が必要だったため、施工規模が小さい現場や、現場に到達するための道路が狭い現場では、実際の工事に見合わない仮設費と長い工期が必要であった。

当該現場の条件も中山間地に位置し、工事用道路も狭隘であったことから、バックホウをベースマシンとしたトレンチャー式攪拌機（パワーブレンダー工法）を採用することにより、作業効率の高い地盤改良を行うことができた。

効果：

- ・連続垂直攪拌混合により、深度方向の土質のバラツキの影響を受けず均質な改良体を造成できました。
- ・機動性の高いバックホウがベースなので、傾斜地において段取り替えの少ない施工ができました。
- ・地盤改良費用を、**485百万円**から**375百万円**に改善。  
(改善額 **109百万円**、改善率約**23%**)

